

ご自由にお持ちください。



vol.22

聖路加国際病院広報誌
セント・ルーカス

六十年の伝統を誇る宿泊ドックの魅力とは



病院名は、キリスト教徒で
医者の守護聖人とされる
聖ルカにちなんで
名づけられました。

<http://www.luke.or.jp>



総合的に診た上で専門医が診察 一人ひとりのニーズに応える聖路加流の人間ドック

疾病的早期発見・早期治療に有用であり、生活習慣の改善指導を行うことで疾病の予防につながるー。そうした考えの下、1954年に日野原重明理事長が民間病院で初めて行ったのが、聖路加の人間ドックの始まりです。以来、その伝統を守りつつ、一人ひとりに寄り添い、専門性と総合性を兼ね備えた検査・診察を行い、病気が見つかればスピーディーに専門的治療につなげる、総合診療のような人間ドックを心がけています。

日本で初めての人間ドック

聖路加の人間ドックは、1954年に日本で初めて、国立東京第一病院（現在の国立国際医療研究センター）と共に始まりました。当初は「短期入院精密身体検査」という呼称で1週間の入院検査を行っていましたが、ある新聞記者がそれを船のドックになぞらえて”人間ドック”という言葉で記事に書いたことから、「人間ドック」という言葉が一般的に使われるようになりました。

成り立ちについて、人間ドック科の河津晶子医長はこう説明します。

「当時内科医長だった日野原理事長がアメリカに留学した時に予防医学の重要性を学び、帰国後にまず臨床検査技師の養成指導を行った上で、2年後に人間ドックを始めました。普段の生活習慣の積み重ねが病気につながるためその連鎖を未然に防ぐことが大切、との思いを実践するためにつくったと聞いています。今では一般的となつた”生活習慣病”という言葉も、日野原理事長が発案者であることからその強い思いが伝わってきます」

現在、聖路加には、本館内の9階東病棟で入院形式で行う宿泊ドックと、予防医療センターで行う1日人間ドック、大手町にある聖路加メディローカスで行う会員制ドックがあります。

今回ご紹介する宿泊ドックは、病院の一診療科である人間ドック科が担当しています。コースは「2日間ドック」「3日間ドック」「1週間ドック」と宿泊脳ドックがあり、オプションとして「肺がんドック」「脳ドック」をはじめ様々な検査

を追加することができます。いずれのコースも基本的な検査項目は同様ですが、専門医の診察やオプション検査の内容にそれぞれ違いがあります（表参照）。

それぞれのコースの特徴について、ドック事務室の鈴木氏によると、

「3日間ドックは、現在ご利用者数が最も多く、オプション検査を組み合わせるとほぼ全身の検査を受けることができます。1週間ドックは、普段何らかの症状がなければからなりような皮膚科、耳鼻咽喉科、口腔外科などの診察が組み込まれているため、3日間ドックは、内視鏡検査が基本検査に含まれていないため、より短い日程で人間ドックを受けたいという方や、ご自身で検査内容を組み合わせたいという方がご利用になられています。2日間ドックは、詳しく述べて欲しい、休暇を取りながらゆっくり検査を受けたいという方がご利用になっています。」

専門医との近さが聖路加流

宿泊ドックは、問診も含めた内科診察から始まります。診察を担当する河津医長は、「多くの方が気になる症状を抱えてドックに来られるので、何が気になっているのか、どう具合が悪いのかを詳しく伺った上で、場合によっては検査を追加・変更したり、必要な診療科に診てもらったりするなど、その方に最も適した検査スケジュールを組み立てるようにしています」と説明しています。

聖路加の宿泊ドックは、本院で検査を行い、各科の専門医が診察し、しかも本院に泊まるというスタイル。検査だけを行う施設とは異なる

り、一般診療を行っている病院内だからこそできるメリットがあります。

健診センターで人間ドックを受けた場合、結果が送られてきたから精密検査を行える医療機関を探すため、二次検査までに1ヶ月以上かかることも多いのが通常。しかし河津医長は、「当院の宿泊ドックでは遠方からいらっしゃるの方も多く、後日また来ていただくのは大変ですし、日にちが空けばその間不安な気持ちのまま過ごさなければなりません。ですから、できるだけドックの期間中に二次検査まで行えるよう様々な調整を行っています。——例えば、腹部の超音波検査で腫瘍らしきものが見つかった場合、ドックの入院

中に診断のための腹部造影CT検査を追加することも可能です。これは、院内の各診療科の協力があるからこそ出来ることです。連携もよいので、実際に宿泊ドックで腫瘍が見つかった方が翌週には外科手術を受けることが出来たということもあります」と話します。

普段は外来を担当している各科の専門医が人間ドックの診察を行うことは珍しく、他施設との大きな違いの一つに挙げられます。実際、利用された方からも「聖路加のドックは他の診察が受けられるところは他にはなかつた」とご好評をいただいています。

各コースの主な基本検査

	2日間ドック	3日間ドック	1週間ドック
身体計測	●	●	●
内科診察	●	●	●
血液検査	●	●	●
心電図検査	●	●	●
肺機能検査	●	●	●
胸部・腹部レントゲン検査	●	●	●
腹部超音波検査	●	●	●
聴力検査	●	●	●
上部消化管内視鏡検査		●	●
下部消化管内視鏡検査または大腸3D-CT検査		●	●
胸部・腹部CT検査			●
眼科診察	●	●	●
外科診察	●	●	●
泌尿器科診察	●	●	●
婦人科診察	●	●	●
整形外科診察		●	●
口腔外科診察			●
皮膚科診察			●
耳鼻科診察			●
脳神経外科診察			●
胸部外科診察			●

各コースのオプション検査

	2日間ドック	3日間ドック	1週間ドック
上部消化管内視鏡検査	◇	●	●
下部消化管内視鏡検査	◇	●	●
脳ドック	□	□	●
肺がんドック	□	□	●
胸部CT検査	□	□	●
睡眠時無呼吸検査	□	□	□
ピロリ菌検査	□	□	□
NT-proBNP検査	□	□	□
HIV検査	□	□	□
心臓超音波検査		□	●

●基本検査に含まれる □選択可 ◇両方選択不可

原因も含めて結果を説明 いわば「総合診療+ドック」

聖路加の宿泊ドックでは、①病気を早期発見し早期治療につなげる、②病気まではいかないものの将来的に病気を引き起こす可能性のある異常を見つけて予防につなげる、という人間ドック本来の目的はもちろんのこと、通常の人間ドックでは行わない「気になる症状を総合的に診て、原因も含めて診断する」ということにも力を入れています。

たとえば、「頻繁にめまいを起こすけれど、どこの医療機関にかかっても、納得した答えが得られない」という悩み。めまいには様々な原因が考えられるため、脳の画像診断や耳鼻科専門医による診察などで異常がないかを確認し、自律神経に影響するストレスも検討しながら、その方の症状がどこからきているのか原因を探ります。

その際、特定の病気や臓器に限定せずに患者さんを総合的に診療するという「総合診療科」でこれまで診療を行ってきた河津医長の経験が生かされています。



河津医長

病気が見つかったときに迅速に治療を開始できるということが大きな特徴です。



鈴木氏

必要に応じて、病院の設備を使って追加の検査を組み込めるという柔軟性は宿泊ドックならではです。

「総合診療科時代は、患者さんを病気ではなく一人の人として、全体を診させていただいた上で診断・説明するということを積み重ねてきました。聖路加の人間ドックもその延長にあります。一般の外来診察では時間も限られていますし、専門外の病気は診てもらえないので、どこの診療科にかかつたら良いか分からなくてドックを受けたという方や、普段治療中の病気についても相談したいという方、セカンドオピニオンを求めて来られる方もいらっしゃいます。そのような方のご要望にこたえられるよう、全体の検査結果を踏まえた上で、総合的に診断し、満足してもらえるような説明やアドバイスができるよう心がけています。いわば「総合診療ドック」のようなものでしようか」（河津医長）

河津医長。

個別の対応という意味では食事も同じ。高血圧の方には塩分制限食を、糖尿病の方にはその方に必要なカロリーに合わせるなど、病院の栄養科と連携し、一人ひとりの健康状態に合わせたメニューが提供されています。

院内ならではの対応と安心感

宿泊ドックの利用者は、北海道から九州まで全国各地から来られています。約8割がリピーターで、平均年齢は60代後半。80歳以上の方が1割以上を占めており、高齢の方が多いのが特徴です。

忙しいからこそ
宿泊ドックでメンテナンスを

最近では、30代、40代の忙しいビジネスパーソンが1週間ドックを利用するケースが増えてい

その理由の1つは、病院に泊まって人間ドックを受けるというスタイルにあります。一般的の宿泊型の人間ドックは、近隣のホテルと提携して、ホテルで宿泊というプランがほとんどですが、検査中も検査後もすべて病院の中で過ごすからこそ、行き届くケアがあります。

通常の人間ドックでは、検査室のあるフロアを歩いて周り、検査の順番が来るまで椅子に腰掛けて待つというのが一般的ですが、聖路加の宿泊ドックの場合、検査と検査の合間に自分の部屋でゆっくり休むことができます。

「先日も、足が悪いから自分で歩いては周れないという70代のご夫婦が当院を選んでいらっしゃいました。検査室への移動には看護師や看護助手が付き添い、体調や血圧などを確認しながら、できるだけ安全に快適に検査を受けただけのようになります。

利用される方の状況によっては、検査の順番を変えたり、途中で具合が悪くなれば、残りの検査を次の日に持ち越すなど、お一人おひとりに合わせて柔軟な対応を行っています」と河津医長。

圧の方には塩分制限食を、糖尿病の方にはその方に必要なカロリーに合わせるなど、病院の栄養科と連携し、一人ひとりの健康状態に合わせたメニューが提供されています。

メンテナンスを行うように、多忙な生活の中で崩れてしまった生活習慣を見直され、大病にならないうちに見つけ出して修復し、新たな人生の航路へ出発される機会にしていただければと思つています」(河津医長)

宿泊ドックのお申し込みは、電話またはドック事務室で直接受け付けています。

「オプション検査をはじめ色々な項目を組み合わせることで、いわばオーダーメイドのドックをご用意することが可能であります。分からぬことやご要望などがありましたら何でもご相談いただければと思います」と鈴木氏。実際に「予防医療センターの1日人間ドックと宿泊ドックどちらにしようか悩んでいます」という相談が多いですが、これについて河津医長は次のように説明します。

「基本的な検査内容はほとんど変わりません。ですから、生活習慣病やがんのスクリーニングを目的に健康状態を一通りチェックしたいという方は、1日人間ドックで十分だと思ひます。ただ、気になる症状について詳しく説明を聞きたい、身体の状態も生活習慣も総合的に診てアドバイス欲しい、専門医にも診てもらいたいという方には、自信を持つ宿泊ドックをお勧めします」

「そうした方にとっては、かえつて1週間ドックが効率が良いようです。毎日遅くまで仕事をされている方はどうしても食生活が乱れがちです、睡眠時間も不規則でストレスが多くかかります。まさに船がドック入りして様々な



病気の有無を調べるだけではなく、自分の体のことをきちんと知りたい。そんなニーズに真摯にお応えするのが、人間ドック科の宿泊ドックです。

聖路加国際病院は昭和29年に東京国立第一病院と並んで1週間入院ドックをはじめました。当時国立第一病院は病床2床に限られていたが、聖路加国際病院は本館は当時なおGHQに接収中で木造の20床のうち5床を人間ドック用とし昭和32年に本館がもどされてからは、旧館の2階B棟とC棟10室を入院ドック用にし、月曜日から土曜日までの入院中、金曜日の夕方は1階の食堂にて夕食会をもち、私はその時健康保持に定期的に人間ドックに入ることの重要性を話し、栄養士は日常の食事の指導をしました。

ドックでは大した病気が発見されなくとも、何時自宅で急変が起ころかもしれないでの、その場合聖路加国際病院の人間ドックでのデータを持参すれば、救急外来の担当医がその時の病状を判断するのに非常に寄与することが大きいと思います。救急外来に来られる時はぜひ前回の人間ドックの報告書を持参してください。



聖路加国際メディカルセンター
理事長・名譽院長　日野原 重明

中央区区民公開講座

参加費無料

慢性腎臓病セミナー



日 時：平成25年7月14日(日曜日)
13時～15時

場 所：聖路加国際病院 本館2階 トイスラーホール
参加費：無料(事前の申込みも不要です)

『腎臓病と言わいたら』

聖路加国際病院 副院長 小松 康宏 先生

『血液透析(在宅含む)・腹膜透析』

聖路加国際病院 腎臓内科 ヒース 雪 先生

『米国式腎臓移植』

聖路加国際病院 腎臓・移植内科 長浜 正彦 先生

『慢性腎臓病治療で大切なこと』

聖路加国際病院 腎センター 看護師 堀 亜紀 先生

『腎臓にやさしい食事をおいしく食べよう』

聖路加国際病院 管理栄養士 中附 暢子 先生

『何でも相談室』 皆様からのご質問にお答えします

総合司会:NPO法人腎臓サポート協会 理事長 松村 満美子

主催:NPO法人腎臓サポート協会(問合せ:03-6380-6731)／後援:中央区／共催:ノバルティスファーマ(株)、バクスター(株)

2013年度 災害対策訓練実施のお知らせ

10月3日(木)14時～16時に、病院全体で災害対策訓練を行います。

当院をより災害に強い
医療機関にするために必要な訓練です。
このため、同日午後の外来を
休診とさせていただきます。
ご迷惑をおかけしますが、
ご理解の程よろしくお願ひいたします。

聖路加国際病院災害対策委員会



2012年10月29日大手町フィナンシャルシティサウスタワーに開業

聖路加国際病院附属クリニック 聖路加メディローカス

第一線で活躍するあなたのホームドクター 聖路加メディローカス

聖路加国際病院は創設(1902年)以来、その時々の社会動向や環境の変化、そして様々な医療ニーズを敏感にとらえ、次代の病院像を描きながら進化・発展を続けてきました。国際金融街として発展が期待される新しい大手町、そこを訪れるさまざまな国から来られた方々を含む様々な人々のために、聖路加のよき伝統を背景にしたプライマリ・ケアと予防医療を提供するクリニックを開業しました。

外来診療

聖路加メディローカスは、どなたでも受診できる外来診療を、次の診療科について行っています。
必要に応じて、聖路加国際病院を中心に適切な医療機関にご紹介します。



一般内科 内科の一般的な症状に、総合医が対応します。

女性診療科 出産、乳がん以外の婦人科症状に対応します。

放射線科 PET-CT、MRIなどの高度な医療機器を用いた画像診断を行います。

【外来診察時間】平日/9:00~18:00(最終受付17:30) 土曜日/10:00~15:00(最終受付14:30) 日祝日/休み

【ご予約】聖路加メディローカスの外来は予約制(当日予約可能)です。事前にご予約のうえ来院ください。

聖路加メディローカス予約センター 03-3527-9527

会員制健康サポート

生活習慣病に加え、3大疾患(がん、脳血管疾患、心疾患)をカバーするフルラインアップの人間ドックをワンストップサービスで受診できるほか、アスレティックトレーナーによる身体機能の確認・評価、栄養士による栄養指導、セミナーを通じた情報提供など、充実のメニューで会員の皆様のヘルシーライフをサポートします。

会費(個人会員) ※法人会員・家族会員の会費は別途お問い合わせください。

入会金(1人当たり)	年会費(1人当たり)
1,890,000円(税込)	630,000円(税込)

お問い合わせ & アクセス



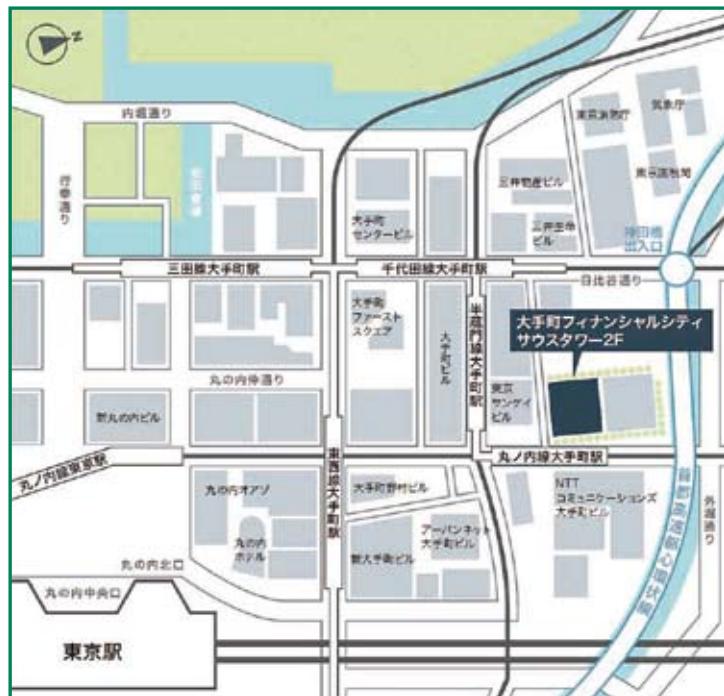
聖路加国際病院附属クリニック 聖路加メディローカス

東京都千代田区大手町一丁目9番7号
大手町フィナンシャルシティ サウスタワー2階

TEL 03-3527-9520(平日9:00~18:00)

HPアドレス
<http://www.luke.or.jp/medilocus/index.html>

E-mailアドレス
medilocus@luke.or.jp



東京メトロ 丸ノ内線 大手町駅 直結JR各線 東京駅 丸の内北口 徒歩10分

一〇〇歳からのスタート

7

前号で紹介したように、トイスラー院長の「この病院は生きた有機体である」との言葉は、私がこの病院に勤務しはじめた太平洋戦争のさなかにも深く胸に刻まれました。

戦時中は、憲兵隊の圧力で病院の塔の上の十字架が切断され、本館の正面にある「神の栄光と人類奉仕のため」という言葉が刻まれた礎石は御影石の覆いで釘止めされた事実を思うにつれ、このできことは聖路加の長い歴史の中でも最大の受難であつたと思います。

私たちは、戦争中軍部の力に屈したこと悔い、これから聖路加国際メディカルセンターは、創設者トイスラー院長の遺された先の言葉をもつともつと色濃く反映させていかなければなりません。病院の職員が職域を超えて融合すること、その行動の具体化を、100歳を超えた私はどう始めるか、それが今の私の最大の勇気を要する行動です。

(聖路加国際メディカルセンター
理事長・名誉院長)

ご寄付をいただきありがとうございました

2013年2月～5月分

金額	名前
10,000,000	株式会社 聖路加サービスセンター 代表取締役 石川 陵一様
500,000	聖路加国際病院ボランティアグループ様
300,000	長澤 綾子様
200,000	河野 光雄様、株式会社 聖ルカ健康情報センター様
110,000	有山 恵子様
100,000	池田 富三様、伊東 慶吾様、大山 英治様、寺本 真一様、小田切 直男様、 小貫 良久様・小貫 笑子様、渡辺 順子様・渡辺 芳治様
50,000	甲斐 加寿江様
30,000	丹羽 喜一様、山田 尚美様
10,000	小室 京子様、塚原 正則様、藤平 容子様
合計	13,936,000円(上記他匿名35名含む)

皆様からいただいたご寄付は、がん・救急医療・小児科・産科・心臓血管疾患などの分野に役立てております。「医療崩壊」と呼ばれるほど多くの問題を抱える日本の医療。「このようなときこそ他院がないことをする」という方針のもと、今後も幅広い領域で医療に貢献できるよう努めてまいります。ご寄付に関しましては、財務経理課 寄付係(03-5550-7063)までお問い合わせください。

聖路加国際病院の理念

*This hospital is a living organism
designed to demonstrate
in convincing terms
the transmuting power of Christian love
when applied
in relief of human suffering.*

Rudolf B. Teusler(1933)

キリスト教の愛の心が
人の悩みを救うために働けば
苦しみは消えて

その人は生まれ変わったようになる

この偉大な愛の力を

だれもがすぐわかるように

計画されてできた生きた有機体がこの病院である
ルドルフ・B・トイスラー(1933)

エコプレス
バインダー

針金・糊・加熱が不要な製本
方法で怪我の危険に配慮し
ています。



輸送マイレージとCO2排出を
抑え、地球温暖化に配慮した
インキです。

Service & Action Information

聖路加健康講座

会場 聖路加国際病院2階 トイスラー記念ホール

時間 午後6:00～7:30

入場無料、予約不要、どなたでもご自由にご参加ください。

2013年

7月23日(火)

人間ドックのすすめ

～大きな病気になる前に、今できること～

一般内科・人間ドック科

河津 晶子

8月27日(火)

タイトル未定

形成外科 大竹 尚之

聖路加健康講座

聖路加国際病院の医師や看護師が講師となり、日常の健康生活のためのお話から最新の治療法まで、毎月様々なテーマで講演を行います。当院をご利用されたことがない方も、お気軽にご参加ください。

日程やテーマは変更になる可能性がございます。
最新の情報はHPにてご確認ください。

<http://www.luke.or.jp/about/approach/seminar.html>

詳しくは
聖路加健康講座で検索

聖路加健康講座

検索



聖路加国際病院

〒104-8560 東京都中央区明石町9-1
TEL.03-3541-5151(代) <http://www.luke.or.jp>

